科目名				学年
ベンチャー企業論 ： Venture Business				5B
教員名	中岡 伊織 ： NAKAOKA Iori			
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	100分×15回	選択	講義・前期	○

授業概要	近年，停滞する日本経済を打破するために、ベンチャー企業に対する期待は膨らんでいる．そこで本講義では、ベンチャー企業について注目し，その特徴や問題などを取り上げていく．また後半は，ベンチャー企業論の一つである四面体理論に焦点をあて、講義を進めていく．

到達目標	評価方法
(1)ベンチャー企業の概要を理解できる. (2)ベンチャー企業経営の問題点がわかる. (3)四面体理論を理解できる.	①中間、期末試験（80%）、②自学自習によるレポート（20%）によって評価する。

学習・教育目標	(C)②	JABEE基準1(2)	(d)－(1)

授業計画

回	項目	内容
第1	ベンチャー企業論の概要	ベンチャー企業の各種定義
第2	企業プロセスと成功戦略	ライフサイクルと成功発展の戦略
第3	組織のマネジメント	組織体系とネットワーキング
第4	ベンチャーファイナンス	ベンチャーキャピタル
第5	起業家育成	アントレプレナーの教育
第6	インキュベーション	インキュベーターの役割
第7	会社設立	設立プロセスとその後の問題点
第8	中間まとめ	中間のまとめを行い試験を実施する
第9	四面体理論(1)	四面体理論の概要
第10	四面体理論(2)	起業家の起業力
第11	四面体理論(3)	変革的切り口
第12	四面体理論(4)	変革的ひねり
第13	四面体理論(5)	統合的合わせ技と変革理論
第14	ベンチャー企業事例	事例を上げて説明する
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。

自学自習の内容	レポートを課す
関連科目	基礎経営学、経営戦略論
教科書	並井一積 角田陸太郎『ベンチャー企業経営論』有斐閣 2002年
参考書	講義にて適宜指示する.
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う.
副担当教員	
備考	